

# メキシコ株ファンド

&lt;5680&gt;

追加型投信/海外/株式

満期償還 2020年5月15日償還

## 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、メキシコの株式等に投資し、信託財産の成長をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

償還時	基準価額	5,758円46銭
	純資産総額	71百万円
償還期	騰落率	△36.8%

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

運用報告書に関するお問い合わせ先

 コールセンター 受付時間 9:00~17:00(営業日のみ)  
0120-106212

お客様の口座内容に関するご照会は、  
お申し込みされた販売会社にお問い合わせください。

■当ファンドは、信託約款において「運用報告書(全体版)」に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供することを定めており、以下の手順で閲覧、ダウンロードいただけます。「運用報告書(全体版)」は受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社へお問い合わせください。

**UD  
FONT**

見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。

◇TKU0568020200515◇

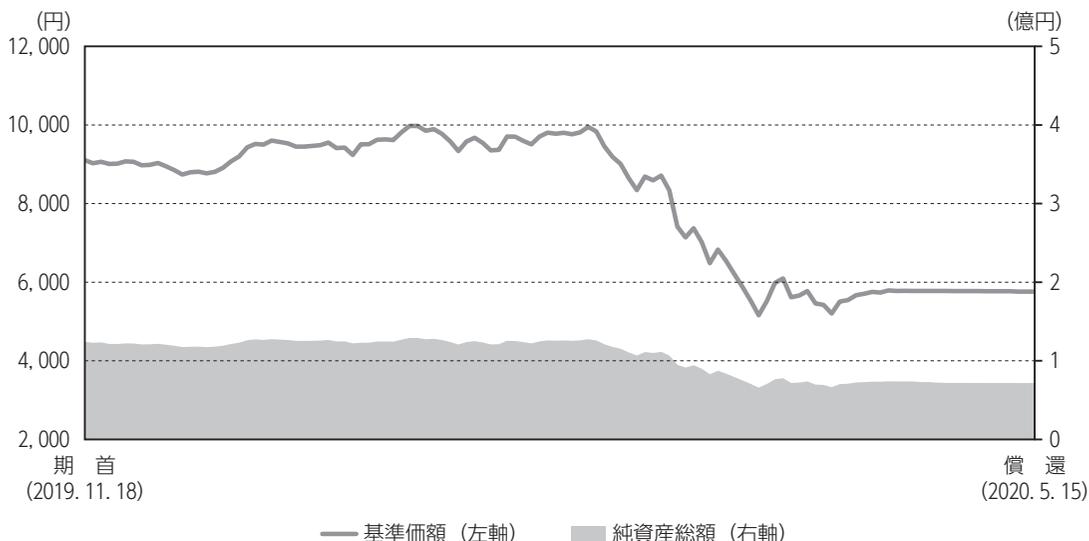
「運用報告書(全体版)」の閲覧・ダウンロード方法

上記のURLにアクセス → ページ下方の「償還済みファンド(運用報告書)」を選択 → リストから当ファンドの「一覧」をクリック → 目的の運用報告書(全体版)を選択



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



#### ■ 基準価額・騰落率

期首：9,106円

償還時：5,758円46銭

騰落率：△36.8%

#### ■ 基準価額の主な変動要因

マザーファンドを通じてメキシコ株式に投資した結果、基準価額は下落しました。現地通貨建てのメキシコ株式が下落したことおよびメキシコ・ペソが対円で下落（円高）したことがマイナス要因となりました。

## 1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 11. 19～2020. 5. 15)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	71円	0. 888%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は8, 019円です。
(投 信 会 社)	(35)	(0. 430)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(35)	(0. 430)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	19	0. 237	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(18)	(0. 228)	
(投資信託証券)	(1)	(0. 009)	
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	17	0. 206	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(17)	(0. 206)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0. 000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	107	1. 330	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

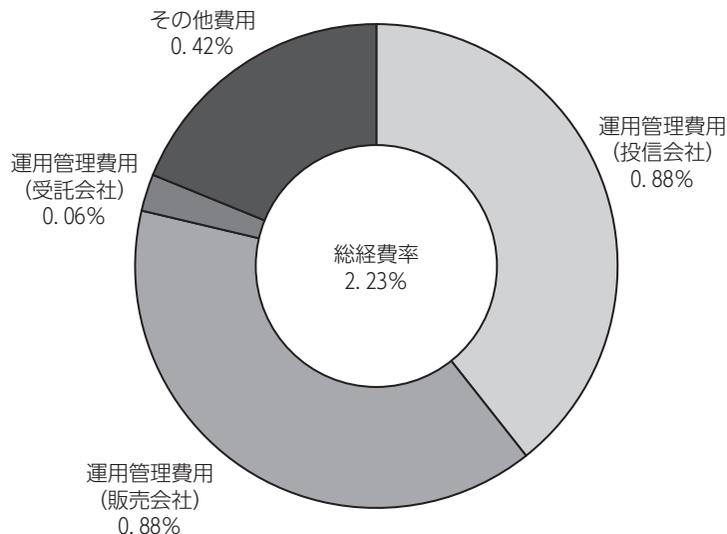
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

## 参考情報

## ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.23%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 最近5年間の基準価額等の推移について



(注) 参考指数は、2015年5月15日の基準価額をもとに指数化したものです。

\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 参考指数はメキシコ ボルサ指数（円換算）です。

	2015年5月7日 設定	2016年5月17日 決算日	2017年5月17日 決算日	2018年5月17日 決算日	2019年5月17日 決算日	2020年5月15日 償還時
基準価額 (円)	10,000	8,771	9,243	8,809	8,751	5,758.46
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△12.3	5.4	△4.7	△0.7	△34.2
メキシコ ボルサ指数 (円換算) 騰落率 (%)	—	△21.9	9.5	△12.1	△4.6	△35.2
純資産総額 (百万円)	100	154	164	197	124	71

(注1) 比率は小数点第1位未満を四捨五入してあります。

(注2) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しております。

(注3) メキシコ ボルサ指数 (円換算) は、メキシコ ボルサ指数 (メキシコ・ペソベース) をもとに、大和アセットマネジメントが円換算したものです。

(注4) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注5) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

## 信託期間中の投資環境について

(2015. 5. 7 ~ 2020. 5. 15)

### ■メキシコ株式市況

メキシコ株式市況は下落しました。

設定時から2016年1月にかけては、中国景気に対する懸念の高まりや、F R B（米国連邦準備制度理事会）による利上げをめぐる投資家の不安心理が高まり、メキシコ株式市況は軟調な展開となりました。その後は、2016年にF R Bによる利上げが一時先送りされたことも手伝い、2017年半ばにかけては好調な米国景気の恩恵を受けつつ堅調に推移しました。2017年後半は、米国がN A F T A（北米自由貿易協定）再交渉において態度を徐々に硬化させたことなどからやや軟調な展開となりました。2018年は、米国の長期金利上昇や米中貿易摩擦への懸念が高まったため世界的に株式市場が下落しました。また、7月のメキシコ大統領選挙ではオブラドール氏が当選を果たし、民間企業の業績に悪影響を与える経済政策への懸念が高まったことから、株式市況は調整が続きました。2019年は、米中貿易摩擦に対する懸念から一進一退の展開となりました。2020年は、中国で感染が見つかった新型コロナウイルスが世界中に拡散したことなどから、世界景気の減速が懸念され世界の株式市場が大きく調整する中、メキシコ株式も大幅に下落しました。

### ■為替相場

メキシコ・ペソは対円で下落しました。

2015年から2016年前半にかけては、米国および中国の景気減速懸念や、原油価格下落によるメキシコ財政の悪化懸念から、メキシコ・ペソ安が進行しました。また、急激な円高が進行したことも、対円でのメキシコ・ペソの下落要因となりました。2016年後半は、反自由貿易路線のトランプ氏が出馬する米国大統領選挙の行方に注目が集まり一進一退の展開となりました。2017年前半は、米国トランプ政権の経済政策への期待や世界景気見通しの改善を受けメキシコ・ペソは上昇しましたが、後半は同政権がN A F T A（北米自由貿易協定）再交渉において態度を徐々に硬化させたことなどから下落する展開となりました。2018年から2019年にかけては、米国の長期金利の動向、米中関係の緊張と緩和、また2018年7月のメキシコ大統領選挙に当選したオブラドール氏の経済政策の変化などに左右される展開となりました。2020年は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により景気見通しが悪化し、2月から4月にかけてメキシコ・ペソを含む新興国通貨は大幅に下落しました。

## 信託期間中の運用方針

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、基本的に株式組入比率は高位とする方針です。

### ■メキシコ株マザーファンド

当ファンドの運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限の一部を委託し、メキシコの中長期的な経済成長の恩恵を享受することをめざし、個別銘柄の選別を重視した運用を行います。

## 信託期間中のポートフォリオについて

(2015. 5. 7 ~ 2020. 5. 15)

### ■当ファンド

「メキシコ株マザーファンド」の受益証券を通じ、株式組入比率を高位としました。

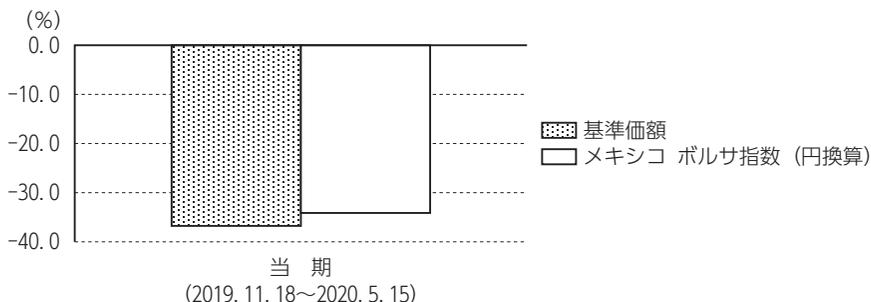
### ■メキシコ株マザーファンド

信託期間中のポートフォリオについては、短期的な株式市場の動きに惑わされず、中長期的な視点でメキシコの経済成長の恩恵を享受できると考えられる銘柄を選別し、ポートフォリオを構築しました。業績見通しや株価バリュエーションなどに着目して、個別銘柄の選別を重視した運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当作成期中の当ファンドの基準価額と参考指数（メキシコ ボルサ指数（円換算））との騰落率の対比です。参考指数はメキシコ株式市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



## 分配金について

信託期間中は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に添えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



## お知らせ

### ■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

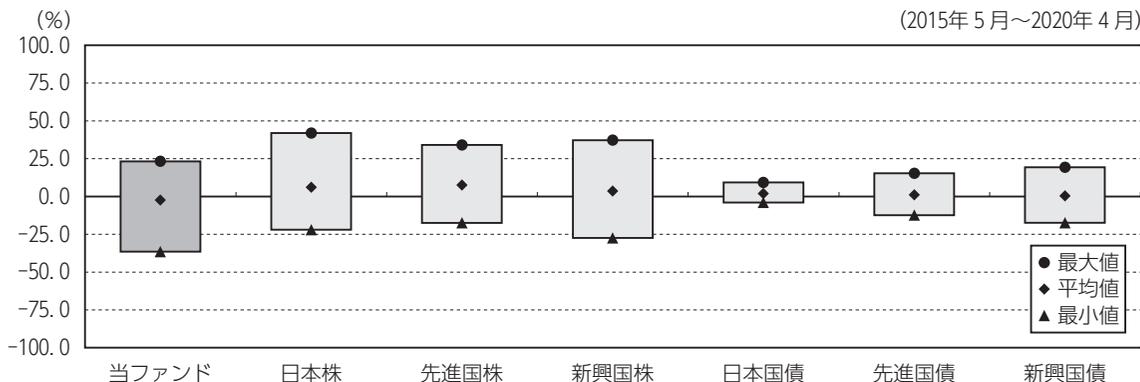


## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	約5年間（2015年5月7日～2020年5月15日）	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行いません。	
主要投資対象	ベビーファンド	メキシコ株マザーファンドの受益証券
	メキシコ株マザーファンド	イ、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。以下同じ。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。以下同じ。） ロ、メキシコの企業のDR（預託証券） ハ、メキシコの株価指数を対象指数とした上場投資信託証券（ETF）
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、メキシコの株式等（※）に投資し、信託財産の成長をめざして運用を行いません。 ※当ファンドにおけるメキシコの株式等とは、メキシコの金融商品取引所上場および店頭登録の株式および不動産投資信託証券、メキシコの企業のDR（預託証券）ならびにメキシコの株価指数を対象指数としたETFをいいます。また、メキシコから売り上げまたは利益の大半を得ていると運用委託会社が判断する企業の株式に投資する場合があります。</p> <p>②運用にあたっては、以下の点に留意します。 イ、時価総額や流動性を勘案して投資対象銘柄を選定します。 ロ、投資対象銘柄について、ボトムアップ・アプローチに基づいて個別企業の分析を行ない、高い利益成長が期待できる銘柄、収益力等に対して株価が割安と判断される銘柄などを組入候補銘柄として選定します。 ハ、株価バリュエーション、業種分散等を勘案し、ポートフォリオを構築します。</p> <p>③外貨建資産の運用にあたっては、ダイワ・アセット・マネジメント（アメリカ）リミテッドに運用の指図にかかる権限を委託します。</p> <p>④株式等の組入比率は、通常の状態でも高位に維持することを基本とします。</p> <p>⑤為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	



## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.2	41.9	34.1	37.2	9.3	15.3	19.3
平均値	△ 2.4	6.1	7.5	3.5	1.9	1.1	0.4
最小値	△ 36.5	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4

上記の図表は、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したもので、過去5年間における年間騰落率（各月末における直近1年間の騰落率）の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示しています。

※各資産クラスは、ファンドの投資対象を表しているものではありません。

※ファンドの年間騰落率は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算したものであり、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

※ファンドの年間騰落率において、過去5年間分のデータが算出できない場合は以下のルールで表示しています。

①年間騰落率に該当するデータがない場合には表示されません。

②年間騰落率が算出できない期間がある場合には、算出可能な期間についてのみ表示しています。

③インデックスファンドにおいて、①②に該当する場合には、当該期間についてベンチマークの年間騰落率で代替して表示します。

※資産クラスについて

日本株……………東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株……………MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株……………MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債……………NOMURA-BPI 国債

先進国債……………FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債……………J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド（円ベース）

※指数について

●TOPIXは東証が算出・公表し、指数値、商標など一切の権利は株式会社東京証券取引所が所有しています。●MSCI コクサイ・インデックスおよびMSCI エマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc. が開発した指数です。同指数に対する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。またMSCI Inc. は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。●NOMURA-BPI 国債は、野村證券株式会社が公表する国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数で、一定の組み入れ基準に基づいて構成された国債ポートフォリオのパフォーマンスをもとに算出されます。NOMURA-BPI 国債の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLC により運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLC の知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLC が有しています。●J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイドは、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morgan はその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morgan からの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.



## ファンドデータ

### 当ファンドの組入資産の内容

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

### 純資産等

項 目	償 還 時
	2020年5月15日
純資産総額	71,644,517円
受益権総口数	124,416,111口
1万口当り基準価額	5,758円46銭

\* 当期中における追加設定元本額は0円、同解約元本額は11,794,052円です。

\* 組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）をご覧ください。